



学校だより 穂 立

平成29年8月29日
新発田市立豊浦中学校
第5号

25年後の社会はどうなっている？ 始業式の校長講話から（抜粋）

（前半 略）

お盆に、私が担任をした平成4年度の卒業生の同窓会に呼ばれて行ってきました。卒業してから25年。今年で40歳。中越地震で大きな打撃を受けた地域ですが、それを乗り越え、仕事と子育てに忙しい毎日を送っているとの事でした。

2クラス70人の学年で、同窓会を開く度に絆が深まり、今では3年に1回の割合で同窓会を開くほどみんなの仲が良くなっているそうです。やはり、中学校時代の仲間というのは人生の中でも特別な存在なのですね。今回は30人ほどの参加でしたが、部活や勉強など中学校時代の思い出に話が大変盛り上がり、楽しい一時を過ごしてきました。



そんな中で、今の中学生と大きく違うことに気付きました。それは、「携帯電話のない時代の中学生」だったという事です。携帯だけでなく、ゲーム機もスーパーファミコンが出た頃で、種類もそんなに多くはない時代です。その他にも社会の様子は今と大きく異なっていました。技術の進歩により、この25年で社会は大きく変化しました。様々な分野で多様化が進みました。

さて、皆さんの25年後はどうでしょうか。どんな大人になっているのでしょうか。社会はどのようになっているのでしょうか。これまでの25年間で様々な物が生まれ、様々な物が消えていきました。それはこの後も同じです。25年後は皆さんが社会の中心となって活躍している頃です。

2学期は様々な行事や活動があります。それらの活動や日頃の学校生活を通して、自分を磨き、自分を高めてください。それがこれからの社会を引っ張る皆さんにとって大切な経験になると思います。

今日からの学校生活、みんなで協力しながら充実したものにしていきましょう。

各種大会等の結果

■県大会

【陸上競技部】

男子三段跳

渡邊

入賞ならず

女子共通砲丸投 高野

入賞ならず

【バドミントン】

男子シングルス ベスト8

渡邊 1回戦シード

2回戦 渡邊 2-0 高橋（小針）

3回戦 渡邊 1-2 佐々木（真野）

女子ダブルス

関川・沙弥香ペア

1回戦

関川・南 2-0 椛澤・酒井（山古志）

2回戦

関川・南 0-2 相澤・伊藤（藤見）

■下越吹奏楽コンクール 銅賞

■わたしの主張 新発田市大会
3年 野俣 奨励賞

■ソフトテニス部女子 1年生大会
1位 野俣・神田ペア

■県中学生シングルス学年別大会
3年男子Bの部 3位 青木

また、この他の選手も、入賞こそ逃しましたが、十分に力を発揮していました。今後の活躍が楽しみです。

『心の眼』で

7月22日（土）に「わたしの主張 新発田大会」が生涯学習センターで開催されました。豊浦中学校からは3年生の野俣さんが出場しました。結果は惜しくも奨励賞で地区大会に出場することはできませんでしたが、堂々とした態度で発表することができました。誰もが思い当たることがある日常での体験を基にした発表で、以下のその内容を紹介します。

「Aさんのテスト、悪かったんだって。」これは、私が小学生のときに聞いた言葉。

普段の会話で、こんな言葉を聞いたことはありませんか？あなたは信じますか？Aさんに確かめてみたら、本当ではありませんでした。そのため、私は誰を信じていいのか、どれが本当

なのか分からなくなりました。

みなさんには、周りからよく思われていない人と接してみたら、イメージが変わったということはありませんか。私には、周りから自分勝手だと思われる人と接してみたら、明るくおもしろい人だったという経験があります。その人は努力しているのに、周りにわかってもらえず、悪いイメージを持たれたままでした。直接その人と接していなければ、私も誤解したままだったと思います。

私たちの周りには、真実がどうか、あいまいな噂や情報がたくさんあります。だから、真実を見極める「心の眼」を持つことが大切です。

先日登校したら、「有名人が事故を起こしたってテレビで言った。」と聞きました。私はそれを信じないまま帰ってテレビを見てみたら、事故は本当でしたが、その伝え方が番組によって少しずつ違っていました。あなたなら何を信じますか。何が本当なのか、それは本人にしか分かりません。



もし、誤解されるような出来事を起こしてしまったのなら、私は他の人ではなく、本人からいち早く一切嘘のない本当の事を聞きたいです。そうすれば、世間の騒ぎもすぐに収まるでしょう。

人間という生き物は噂が好きなのかも知れませんが、日常生活でもたくさん流れる噂。本当かどうか分からないのに広まっていきます。まるで噂話をするのがコミュニケーションでもあるかのようです。テレビでは、「有名人が問題を起こした。」という内容のニュースが流れています。ニュースキャスターはどのような思いでニュースを読んでいるのでしょうか。本当の時もあるでしょうが、時には間違っている時もあるでしょう。人間なので間違いは誰にでもあります。しかし、その間違いがたくさんの人に一気に広まり、苦しんだ人や人生を狂わされた人もいるはずですが、その人たちには誰がどのように責任をとるのでしょうか。人を傷つけた以上、謝罪は不可欠です。また、聞いている人も簡単にそれが本当だと思いつまみず、真実がどうか見極めようとするのが大切です。

私は、1年生の時、「悪口の伝言」はトラブルの基だと教わりました。Bさんが陰でCさんの悪口、例えば「バカ」と言ったとします。それを聞いたDさんが「BさんがCさんのことバカと言っていたよ。」と他の人に伝えたら、どうなるのでしょうか。やがてDさんの耳に入り、DさんがBさんの悪口を言い返し、ケンカになり、それぞれに味方がついて、大きな対立になるかもしれません。また、「悪口の伝言」が繰り返されていく内に内容がエスカレートして、Bさん

が言っていないことまで、さもBさんが言ったように伝わることであり得ます。豊浦中学校では「悪口の伝言」はしないようにみんなで心がけています。

もし、自分のことで身に覚えがないのに本当のように次々に噂を広められたら、どう思いますか？私はとても悲しいです。更に、ロコミだけでなく、ネット上でありもしない噂が拡散しがちです。

「たかが噂、されど噂」です。噂が広まったことを悩み、自殺に追い込まれることだってあり得ます。時には噂は人の命を奪う凶器にもなるのです。

真実を見極める「心の眼」を持てば、噂や思い込みに流されることはなくなります。人を「心の眼」で見つめて、お互いに信頼して、暮らせる社会を築いていきましょう。

みなさんは、いろんな情報をすべて本当と信じますか？

いよいよ体育祭

1学期から準備を始めた体育祭が今週末と迫りました。今年は前半が暑く、後半は曇りや雨模様の日が多い不順な天候でした。最近では気温こそ下がってきたものの、湿度が高く、日が差すと相変わらず暑い日となっています。

当日の天気が心配ですが、生徒の活躍する姿を是非ご覧ください。

体育祭スローガン

Carry your ”本気” through to the END

各団の学級と幹部生徒

【赤団】	3の2	2の1	1のA
	応援団団長		赤松
	副団長		長場
	パネル係長		渡邊
	小道具係長		細野
【青団】	3の1	2の2	1のB
	応援団団長		吉原
	副団長		佐々木
	パネル係長		齋藤
	小道具係長		渡邊

※1年生は1クラスなので学級の中でAとBに分かれています。お子さんにどちらか、確認しておいてください。

